

岩手町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>国道281号を利用している岩手町及び葛巻町は、救急医療体制の構築が課題となっており、効率的に機能させる道路ネットワークの整備が必要となっています。</p> <p>特に緊急医療の中核を担う岩手医科大学付属病院は、矢巾町に移転が決定しており、盛岡広域圏北部では救急搬送時間の増大が懸念されています。</p> <p>県内で指定されている地域高規格道路は、宮古盛岡横断道路、三陸北縦貫道路、盛岡秋田道路、開運橋飯岡道路（候補予定）の4路線となっておりますが、県北地域における救急医療機関への搬送時間の短縮を図るため、国道281号岩手町・葛巻町間の地域高規格道路の区間指定と抜本的改良整備を強く要望します。</p>	<p>地域高規格道路の指定については、国の地域高規格道路の整備方針における長期的な目標として、6,000～8,000キロメートルの整備を図ることとしており、既に約7,000キロメートルの計画路線が指定されているほか、これに加え「候補路線」として全国で110路線が選定されていることなどから、新たな指定を受けることは難しい状況です。</p> <p>国道281号については、沿岸地域と内陸地域を結ぶ物流や産業振興を支える重要な幹線道路であり、「復興道路」と一体となって機能する「復興支援道路」に位置付けて、各地区における交通あい路の解消を図っていくこととしています。</p>	盛岡広域振興局	岩手土木センター	C

岩手町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>主要地方道岩手平舘線は、岩手町沼宮内地区の中心部を通り、沿線には住宅、商店、小学校、病院等が密集しており、町民にとっては通勤、通学、通院、買い物等日常生活には欠かせない重要な路線として利用されています。</p> <p>大町地区から新町地区の一部区間については、街路整備事業による車道の拡幅と歩道の整備により歩行者の安全が確保されました。</p> <p>しかしながら、城山、新町、野口町、愛宕下地区には歩道が整備されていないため、児童生徒は危険な状況で通学しており、平成19年には野口町地区において小学生の死亡事故が発生しております。</p> <p>この状況を受け、平成21年度から歩行環境改善のため道路側溝の入替えによる段差解消及び老朽化した側溝蓋の取り替えを行っていただきました。この事により、歩行環境の一部は改善されたものの、未だに危険な状況は解決されておりません。</p> <p>特にも冬期間は、路側部が除雪による堆雪スペースとして制限されるため、歩行者にとっては更に危険な状況となっております。</p> <p>また、平成26年度に実施した通学路緊急合同点検において、当該地区は要対策箇所に位置付けられましたが、未だに対策が講じられていない状況のままとなっております。</p> <p>つきましては、当該路線の歩道が整備されていない区間（城山、新町、野口町、愛宕下地区）において、歩行者が安全で安心して歩行できるよう対策を講じられるよう要望します。</p>	<p>歩道が整備されていない区間（城山、新町、野口町、愛宕下地区）の歩行者の安全確保対策については、「通学路の緊急合同点検」及び「通学路交通安全プログラム」を踏まえ、貴町等、関係機関と協議しながら、路面表示の工夫や路側帯を歩行空間として最大限活用するなどにより、歩行者の安全確保等、交通環境改善の方策を検討していきます。（C）</p>	<p>盛岡広域振興局</p>	<p>岩手土木センター</p>	<p>C</p>

岩手町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>岩手県立沼宮内病院は、開設以来、長年にわたり地域医療の重要な拠点として、多大な貢献を果たしてきました。しかし、平成23年度に地域診療センターに移行後、町内の入院施設が皆無に近い状況となり、地域住民の医療に対する不安が増大しています。</p> <p>このような中で本町は、当該地域診療センターの民間移管に関して、一般入院ベッドを確保するため関係法人と協議中ですが、諸般の事情により具体的な進展をみるに至っておらず、その実現は極めて困難な状況にあります。</p> <p>つきましては、本町においては、当初の目的達成に向け当該法人とより緊密に協議を続けるほか、新たな可能性の検討を行うことから、県におかれましても、盛岡広域圏北部における貴重な医療施設である岩手県立中央病院附属沼宮内地域診療センターを岩手県地域医療構想における回復期もしくは慢性期の医療機関に位置付けるなど、病床を存続もしくは復活に向けたご検討を早急にされるよう切に要望します。</p> <p>併せて、岩手県地域医療構想の実現に向けて構想区域ごとに設ける「協議の場」において、同診療センターの休止中の病床を廃止することのないよう強く要望します。</p>	<p>沼宮内地域診療センターについては、危機的な医師不足の中、限られた医療資源のもとで良質な医療を提供するために病床を休止することとしたところですが、こうした状況については現在も変わらないものと認識しております。</p> <p>このため、病床を再開することは困難であり、現経営計画では、現行の体制を基本として、県立病院等相互の役割分担と連携により、地域医療提供体制の確保を図ることとしております。</p> <p>なお、岩手町が進めている民間移管に向けた取組みや新たな検討を行う場合には、引き続き医療局としても、必要な支援等連携を図って参ります。</p> <p>地域医療構想の実現に向けては、「協議の場」での関係者の協議に基づき、医療機関の自主的な取組を基本として、病床機能の分化と連携、在宅医療等の体制整備などに取り組むことで将来のあるべき医療提供体制を実現することを目指すこととしており、要望の内容も参考に、市町村も含めた「協議の場」での議論を進めていきます。</p>	<p>盛岡広域振興局</p>	<p>経営企画部、保健福祉環境部</p>	<p>C</p>

岩手町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>本町の山間部などテレビ電波の届きにくい地域では、テレビ放送を受信するために共同受信施設を整備し、組合組織として放送を受信してきました。地上デジタル放送への移行の際には、国等による施策を活用し、共同受信施設の新設や既存施設の改修などの対策を講じてきたところです。</p> <p>しかし、既存施設ではデジタル放送を受信するための最小限の改修しか行っていないため、組合が保有するケーブルや柱などの施設は老朽化しており、早急に改修が必要な状況となっております。各組合でも施設改修等のため組合費による積み立て等を行ってきておりますが、大規模な改修については費用が高額であり、組合費のみでは実施することができない状況となっております。</p> <p>つきましては、テレビ共同受信施設の維持管理費及び老朽化に伴う施設改修費に対する国庫補助金制度の創設を国に働き掛けてくださいますよう要望します。</p>	<p>テレビ共同受信施設組合の施設更新は全国的な課題であり、県では全国知事会や全国都道府県情報管理主管課長会を通じ、国に対し、維持管理費等に対する新たな支援制度の創設や、維持管理費等を地元自治体が支援する場合の地方財政措置について要望をしてきたところです。</p> <p>平成30年度予算については、県単独で要望を行ったほか、全国知事会を通じ要望を行っています。</p> <p>今後も市町村と連携し、県内のテレビ共同受信施設組合の実情把握に努めるとともに、引き続き、国に対し支援制度の創設について要望していきます。</p>	盛岡広域振興局	経営企画部	B
<p>本町の新田用水路及び取水源である新田ため池は、明治時代に築造されて以来、農家や土地改良区の日常管理によって施設機能が維持されていますが、維持管理に多大な労力・経費を要しているほか、安全性の低下や事故の発生が危惧されております。このことから、今年度において当該地区への用水確保のため、県営農業水利施設保全合理化事業による用水路の整備に係る実施設計を予定しているところであります。</p> <p>今後引き続き、計画的な事業実施のため、農業農村整備事業予算の拡充を要望します。</p>	<p>農業水利施設保全合理化事業（用排水施設整備事業）新田地区は、用水利用の効率化と施設の安全性の向上等により、経営規模の拡大と経営の安定を図るため、用水路とため池の改修を一体的に実施することとして、今年度国庫補助事業として採択されたものであります。</p> <p>国においては、平成30年度当初予算概算決定額と平成29年度補正予算を合わせて前年度を上回る額が確保されたところです。</p> <p>本県においては地域からの整備要望が多く出されている中、平成29年度補正予算については必要な額が措置されたところですが、平成30年度予算についても引き続き十分に措置されるよう、国に強く働きかけていきます。</p>	盛岡広域振興局	農政部	B